



発行番号：第17A0601号  
発行日：平成29年 6月 6日

## 品質性能試験報告書

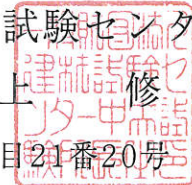
依頼者                   デ   ン   カ   株   式   会   社

東京都町田市旭町3 - 5 - 1

試験名称               ト   ン   ネ   ル   補   修   材   料   の   防   火   性   能   試   験

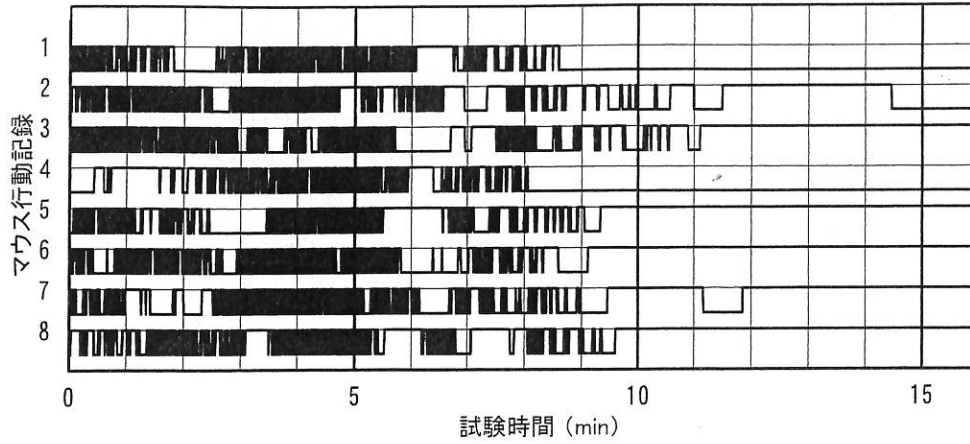
標記試験結果は本報告のとおりであることを証明します。

一般財団法人   建材試験センター  
中央試験所長   川   上   修  
埼玉県草加市稲荷5丁目21番20号



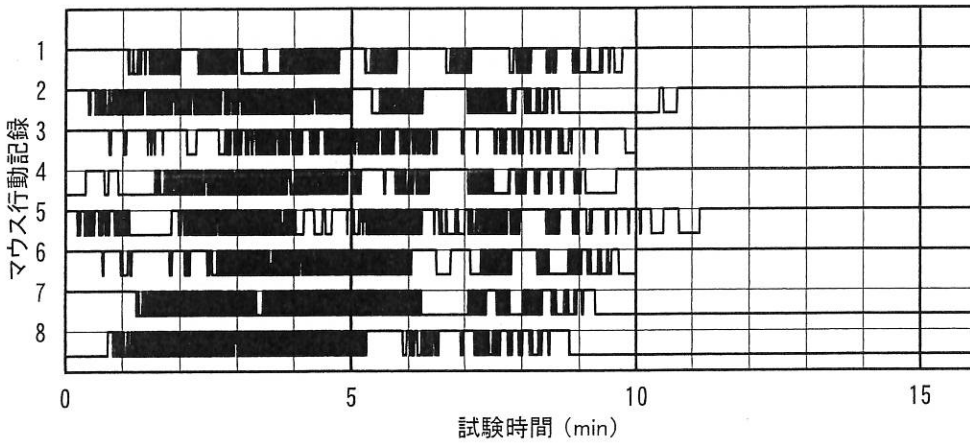
## 品質性能試験報告書

試験名称	トンネル補修材料の防火性能試験				
依頼者	デンカ株式会社				
試験体	商品名：はく落防止工法（デンカNAV-G工法（UV仕様）） 材料構成： (1) 保護塗料（NAVコートUV）：塗布量0.1kg/m <sup>2</sup> (2) 上塗り接着剤（デンカNAVレジン1）：塗布量0.2kg/m <sup>2</sup> (3) ガラスクロス（NAV-Gシート） (4) 下塗り接着剤（デンカNAVレジン2）：塗布量0.4kg/m <sup>2</sup> (5) 不陸調整剤（デンカNAVレジン2+AS380）：塗布量1.0kg/m <sup>2</sup> (6) プライマー（デンカNAVレジン1）：塗布量0.2kg/m <sup>2</sup> (7) 被着体（繊維混入けい酸カルシウム板）：厚さ10mm 備考：材料構成は依頼者の提出資料による。				
試験方法	（一財）建材試験センターが定めた「防耐火性能試験・評価業務方法書」に基づくガス有害性試験。 加熱時間6分，主熱源1.5kW，副熱源0.35□/min 空気流量：一次3.0□/min，二次25.0□/min				
試験結果	試験体記号	No.1	No.2		
	試験年月日	平成29年5月19日	平成29年5月19日		
	試験体の大きさ	mm	221×221	220×221	
	試験体の厚さ	mm	10.7	10.9	
	試験体の質量	g	467.6	465.1	
	マウス系・性	dd系・♀		dd系・♀	
	マウス平均質量	g	19.5	19.5	
	マウス行動記録		別図1に示す。	別図2に示す。	
	$\bar{\chi}$ min		10.28	9.93	
	$\sigma$ min		1.98	0.68	
	$\chi_s$ min		8.30	9.25	
	排気・被検箱内温度曲線		別図3に示す。	別図4に示す。	
	排気最高温度	℃	255	250	
	被検箱内度	℃	初期	26.6	26.9
			最高	26.8	27.1
	加熱減量	g	40.3	38.9	
	[備考] ・標準板の排気温度曲線を別図5に示す。 [判定基準] ・マウスの平均行動停止時間（ $\chi_s$ ）が規定値（6.8min以上）を満足すること。				
試験期間	平成29年 5月19日				
担当者	防耐火グループ 統括リーダー 主幹	白岩 昌幸 箕輪 英信 高橋 一徳（主担当）			
試験場所	中央試験所				



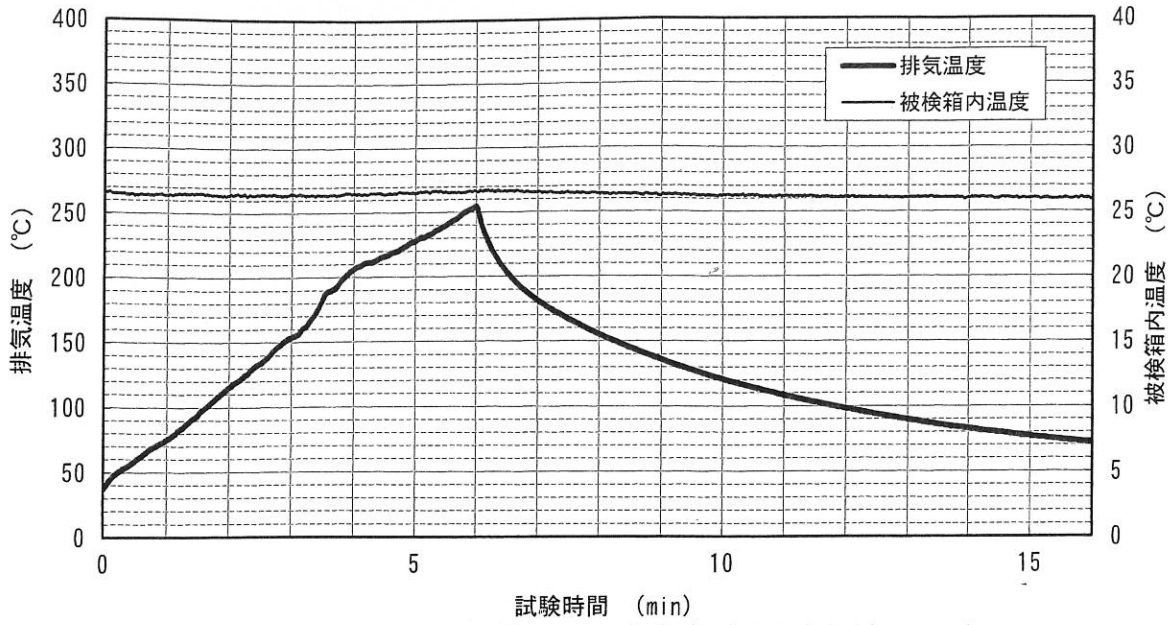
マウス質量 (g)	1	20.5
	2	19.7
	3	21.2
	4	18.0
	5	18.3
	6	18.7
	7	20.9
	8	18.4
	平均	19.5
マウス行動停止時間 (分)	1	8.6
	2	14.5
	3	11.1
	4	8.1
	5	9.3
	6	9.1
	7	11.9
	8	9.6
	$\bar{x}$	10.28
$\sigma$	1.98	
$\chi s$	8.30	

別図1 マウス行動記録 (試験体記号：No.1)

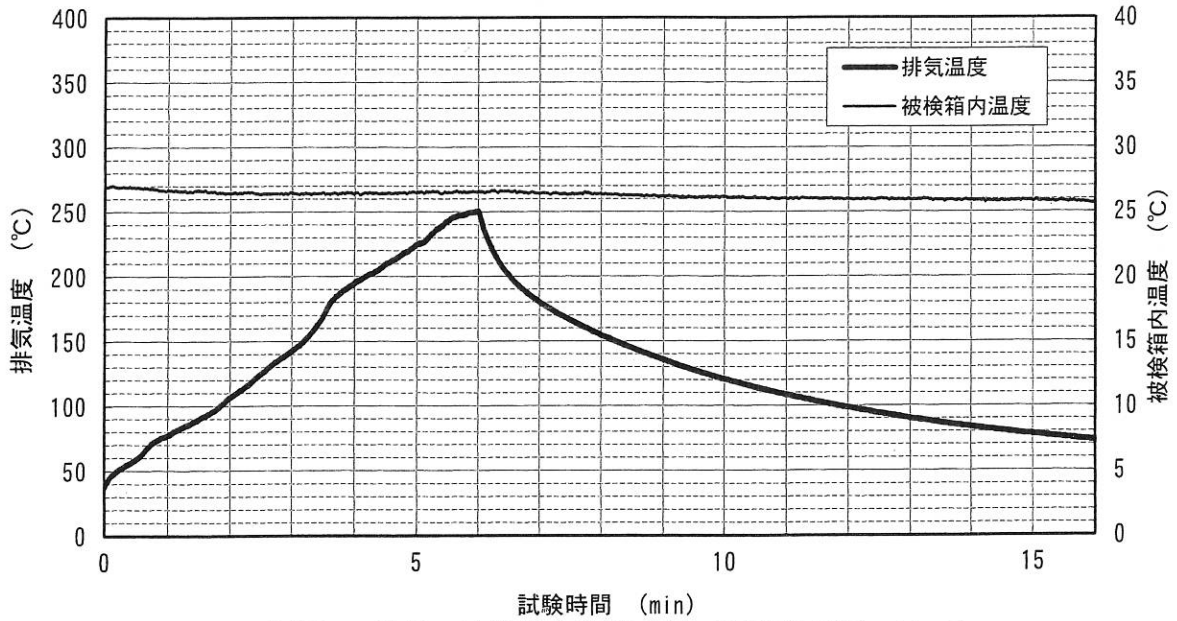


マウス質量 (g)	1	20.0
	2	20.1
	3	20.6
	4	19.1
	5	18.0
	6	20.8
	7	19.1
	8	18.6
	平均	19.5
マウス行動停止時間 (分)	1	9.8
	2	10.7
	3	10.0
	4	9.7
	5	11.1
	6	10.0
	7	9.3
	8	8.8
	$\bar{x}$	9.93
$\sigma$	0.68	
$\chi s$	9.25	

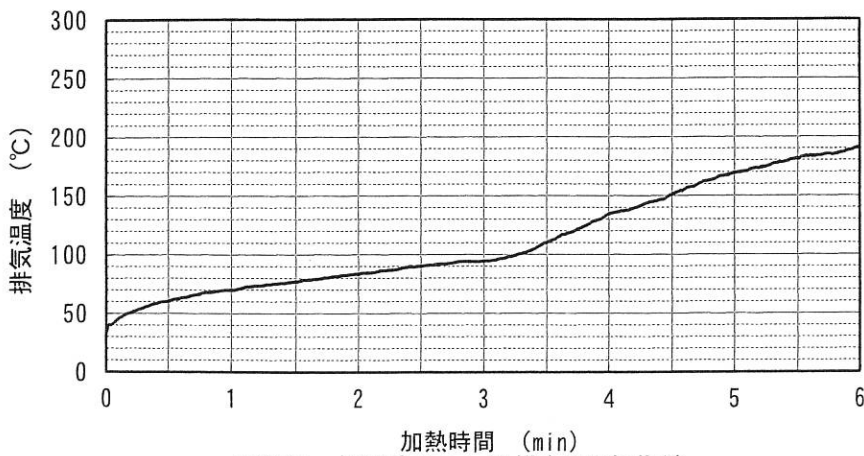
別図2 マウス行動記録 (試験体記号：No.2)



別図3 排気・被検箱内温度曲線 (試験体記号：No.1)



別図4 排気・被検箱内温度曲線 (試験体記号：No.2)



別図5 標準板による排気温度曲線

以下余白